

生徒と保護者のための

かわら版



HPIに掲載中

青少年赤十字 研究推進校に指定

写真は誰でしょう。リンカーン？よく間違われますが、違います。アンリー・ジュナンという人です。何と今日が、誕生日です。



アンリー・ジュナン

百五十年ほど前、実業家であった彼は、仕事のために通りかかったイタリア、ソルフェリーノで、戦争のために傷つき瀕死の状態にある兵士をまのあたりにする。「怪我をしている兵士はもはや兵士ではない。一人の人間でしかない」と、敵味方関係なく、救護活動を始める。この経験をもとに、「戦時において自由に安全に医療活動ができるボランティアの組織が必要であり、平和なうちに、戦時におけるルールを国際的に取り決めておくこと」の大切さを唱えた。これが赤十字運動の始まりである。そして、彼の出身地であるスイスの国旗の色を反転させたのが赤十字の旗

である。

赤十字運動の歴史には、戦争や紛争がつきまとう。しかし、赤十字運動は「起きていよう争いや戦いをやめよう」という運動ではない。争いや戦いの背景には双方の正義や思

惑、時には第三者の思わぬ受益もあるかもしれない。第一次世界大戦のあと、アメリカの子どもたちは、ヨーロッパの子どもたちの困窮する状況に「気づき」、それに對し、日用品や文具などを送ろうと「考え」、「実践」する。子どもたちの中から生まれた活動である。このことは、世界中の大人たちにも大きな感銘を与えた。そして、青少年に対して、平和とはどういうものだろう、人道とはどういうものだろうかということ、予めき

ちんと教育しておこうと考えた。これが、青少年赤十字の始まりである。

本校は平成五年から青少年赤十字に全校加盟をしている。そして、今年度から二年間、「青少年赤十字研究推進校」に指定された。青少年赤十字の態度目標である「気づき・考え・実行する」を具現化するために今後、どのような活動ができていくのか、生徒会本部役員を中心に話し合い、実行に結びつけていかなければならない。

5/9(土)	保護者会総会 受付	8:30~	9:00
	学級保護者会	9:00~	9:40
	委員会	9:45~	10:25
	総会	10:30~	12:00
	※送迎バス 朝	8:00~	8:45
	昼	12:10~	13:00

- 5/10(日) 太陽光発電アドバイザー試験 母の日
- 5/11(月) 全校朝会 QUテスト(ロングホーム)
- 5/12(火) 1年学年朝会(体育館)
- 5/13(水) 2年学年朝会(体育館)
心臓検診(1年)(女生徒はバス外にも準備)
- 5/14(木) 介護実習事前訪問(医福3年)
- 5/16(土) 土曜補習(全e・プ・特進3)ケンブリッジ英検
- 5/18(月) 介護実習(医福3年)~(6/5)
- 5/19(火) 中間考査(予備日)~22(金)
- 5/20(水) 中間考査~22(金)
- 5/22(金) 生徒会総会 防災避難訓練

※QUテストは、「いこちのよいクラスをつくるためのアンケート」「やる気のあるクラスをつくるためのアンケート」から成る心理テストです。

資格試験情報

- ※資格試験申込み締切※
- ビジネス文書5月12日まで
- 実用英語検定5月14日まで
- 数学検定 5月14日まで
- 色彩検定 5月15日まで

(●は新出事項)

進路指導情報

- 就職試験対策問題(国数) 毎週火・木曜日にプリントを配布(就職相談室へ)
- 作文の提出(就職希望者) 作文用紙は就職相談室へ

例「社会人の心構え」

「高校生活の思い出」
定期的提出し、添削などを受けましょう。

編集後記

ゴールデンウィークが終わった。相談室としてこわいのが、俗にいう「五月病」である。しかし、「五月病」という病気は存在しない。新しい環境に慣れようと、お互いの心地よい距離感を測っている、ボクシングで言えば、ジャブを出し合っていた四月。そして「報われない気持ちを整理」できないまま、入ってしまったこの連休。距離感を特に意識せずに過ごせたこの連休。そして現実の連休明け。そして、五月病予防に必要な一言なのかもしれない。

清流

私は犬を連れて散歩をする。暗くなり始める頃には、同じような人が行き交っている。そんな人同士が、顔見知りでなくても、すれ違う時に「こんにちは」「こんばんは」などと自然に挨拶を交わす。ところが、犬を連れていないとどうだろう。知らない者がお互い声をかけることはない。まして互いの顔すら見ることもない。▼「江戸の街ではそうではなかった」と「江戸しぐさ 越川禮子著」で言っている。見ず知らずの他人とすれ違うときでさえ、互いに目と目をあわせ、さりげなく目であいさつをかわした。このしぐさを「会釈のまなざし」という。江戸という街は当時世界で一番大きな街であったにもかかわらず、お互いを気遣い、暗黙の了解でもいえるような心地よいマナーがいたるところに存在していたようである。▼先日ある番組で、横断歩道を渡り終えた小学生が、振り返って、譲ってくれた車に対して深々とお礼をする光景が、他の国の人からみたら、「よしあしは別として、不思議でとても日本人らしい」と言っていた。▼江戸だけでなく、全国のそれぞれの土地で大切にされてきた「仕草」は、他人を思いやるという心が源流にあるように思う。